



- ▶ 研修医数 1年目 7名、2年目 4名
- ▶ 昨年度マッチング受験者数 53名
- ▶ 研修医の主な出身大学

香川大学、群馬大学、千葉大学、筑波大学、東北大学、弘前大学、山形大学、名古屋大学、信州大学、札幌医科大学、福島県立医科大学、東北医科薬科大学、徳島大学、東京女子医科大学、金沢大学、埼玉医科大学、順天堂大学、新潟大学 等

研修プログラムの特色

研修医のスムーズな業務や当直の開始、院内での意思疎通をはかるためオリエンテーションは濃密な内容となっています。研修医の満足度は高く、2年目の研修医も時間を見つけて参加しています。また救急診療へ重点をおき、救急科4ヶ月を必須としています。Common Diseaseをはじめ高齢者救急や重症外傷など重症～軽症の患者を指導医の監督の下で幅広く勉強することが可能です。重症者へは初期対応の道筋を立てられること、中等症以下では初期対応から入院指示まで一人でできることが目標です。特に夜間救急では早くから救急診療や様々な手技に携わることになります。1年目は医療面接や診察・カルテ記載を学ぶため内科系、救急科、一般外来を中心に研修を開始します。外科手技も理解できるよう外科系診療科も途中でローテートし、内科系と外科系をバランスよく修得してもらいます。そして当院の状況を十分に理解した2年目に、産婦人科、精神科、地域医療と他施設での研修を行うことで、病院ごとの違いも体験していただきます。

プログラム例 済生会加須病院臨床研修プログラム / 募集定員: 7名

	1-4週	5-8週	9-12週	13-16週	17-20週	21-24週	25-28週	29-32週	33-36週	37-40週	41-44週	45-48週	49-52週
1年目	オリエンテーション	内科	麻酔科	救急科	内科	外科							
2年目		救急科	精神科	産婦人科	地域医療	小児科			選択科目				

- 1年目
- ①内科研修(循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病内科、脳神経内科、血液内科の中から) 36週以上必修
 - ②外科研修(外科・脳神経外科、泌尿器科、整形外科の中から) 8週以上必修
 - ③救急・麻酔科研修(救急外来、夜間救急、集中治療室、麻酔科(手術室)において) 8週以上必修
- 2年目
- ①救急科研修8週以上必修 ②小児科研修4週以上必修 ③精神科研修(協力型病院において) 4週以上必修
 - ④産婦人科研修(協力型病院において) 4週以上必修 ⑤地域医療研修(協力施設において) 4週以上必修
 - ⑥選択科研修(当院診療科の中から) 28週以上の自由選択研修

■ 研修医の処遇

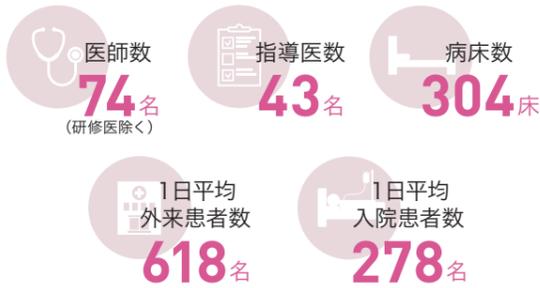
給与	1年目:(税込)約540万円/年 2年目:(税込)約630万円/年 ※賞与・時間外手当を含むものとする。	勤務時間	8時30分～17時00分
諸手当	住宅手当・時間外手当・通勤手当など	当直	あり(4～5回程度/月)
保険	組合健保(組合名:埼玉県医師会健康保険組合) 厚生年金保険 雇用保険・労災保険 医師賠償責任保険(病院において加入)	休暇	土曜日・日曜日・祝日 年末年始(12/29～1/3)
		有給休暇	1年目:10日間(夏季休暇含む) 2年目:17日間(夏季休暇含む)
		宿舎	あり(単身用ワンルームを有償貸与)
		その他	職員用駐車場あり

■ 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・久喜すずき病院
- ・済生会鴻巣病院
- ・東京女子医科大学病院
- ・済生会川口総合病院
- ・獨協医科大学埼玉医療センター
- ・岩手県済生会岩泉病院
- ・済生会今治病院
- ・相沢内科医院
- ・中田病院
- ・ふたば在宅クリニック 他

■ 病院の概要

NPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)による認定 / 無



■ 診療科

内科、循環器内科、脳神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、小児科、外科、呼吸器外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、整形外科、形成外科、麻酔科、救急科、リハビリテーション科

■ 主な認定施設

災害拠点病院、地域医療支援病院、災害派遣医療チーム埼玉 DMAT 指定病院、日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本がん治療認定医機構認定研修施設 等

■ 当院の魅力

豊富な症例を丁寧に経験できる当院へ

当院は埼玉県の北東部に位置し、7市2町からなる利根医療圏に属しています。当地域は医師偏在化指数において最も低い地域ですが、当院はその中で中核病院として地域医療の最も重要な担い手です。従って、あらゆる疾病をその最初から治療による変遷、効果まで見届けることのできる環境にあります。勿論臨床研修では一人ひとりの患者さんの病態生理にどれだけ肉薄できるかが問われていますから、上級医と議論しながらこのプロセスをどれだけ深化させられるかが重要です。当院ではそれが可能です。手技的な習得は本人の積極性にもよりますが、救命救急センターも設置していますのでCVカテーテルの挿入や挿管等は基本的なこととして習熟できるでしょう。また地域医療や選択科でも研修医の希望を取り入れて、実習先を拡充してきましたので、さらに様々な経験が積めると思います。研修医からのアイデアや希望で各科医師との茶話会や抄読会も行われるようになりました。当院では皆さんの要望にフレキシブルに対応できるようになっていますから、自分達で研修をより充実したものにすることが可能です。研修の成果は、院内はじめ様々なところでの症例発表として報告することを推奨しています。他流試合が皆さんをさらに磨き上げるでしょう。皆さんのいらっしゃるのを心待ちにしております。



女性医師支援

当院女性医師の声～当院で働くメリット～

- ①嘱託医でも、専門外来を受け持つことができます。「当院には、嘱託勤務制度があり、一般の医師より少ない勤務日数で働くことが可能で、当直等も免除されます。専門医を取得し、子育てと仕事をうまく両立しています」
- ②院内保育所を完備しており、病児保育も利用できます。「当院には、院内保育所があり、病気の時でも子どもを預かってくれるので、安心して働けます」
- ③転動がないため、同じ患者を長期にわたって継続して診ることができます。「糖尿病のような慢性疾患は、長期間、継続して診ることに意味があると思うので、中断されずに担当できます」
- ④産休、育休が取りやすいことや、急に出勤できない時にも手厚いフォローができます。



病院見学、その他イベント・説明会等の情報

病院見学を随時受付しています。まずは電話やメールで、お気軽にお問い合わせください。



連絡先

病院名 埼玉県済生会加須病院
所属 臨床研修センター 事務局
住所 〒347-0101 埼玉県加須市上高柳1680番地
TEL 0480-70-0888(代表)
FAX 0480-70-0889
E-mail rinkin@saikazo.org
URL https://www.saikazo.org/
アクセス 東武伊勢崎線加須駅南口から徒歩で約10分

研修責任者からメッセージ

プログラム責任者
臨床研修管理委員長

速水 宏樹



開院3年目となりましたが、開院当初以上に、さらに活気が湧いております。臨床研修も教育体制の充実とともに、洗練されてきています。毎週の勉強会は研修医自身が内容を決定し、研修センターがサポートする体制をとっています。研修医の要望に応じて昨年は『抄読会』『救急の振り返り』などを行いました。研修医の意見を毎年反映させたオリエンテーションも用意しています。研修の主役として研修医自身の意見が反映されやすいことは当院の特徴です。うれしいことに見学者も志願者も年々増えてきております。ぜひ当院に見学に来てみてください。お待ちしております。

先輩研修医の声

研修医 2年目

勝見 大誠



あなたにとって理想の初期研修とはどのようなものでしょうか。幅広い診療科での実践経験、大学では教わらない手技の習得、教育熱心な上級医、柔軟な研修プログラム、充実した院内設備、自主学習や休息に当てられる休日…など、人によって様々な考えがあると思います。当院の初期研修では、これらに全て応えることができます。どのような将来像を持った方でも、確実に未来へ繋がる研修を行うことができる研修病院だと思います。私にとっての理想は、温かな雰囲気のある病院で研修を行えることです。私がこの研修病院を志望した最大の理由は、見学で雰囲気の高さを強く感じたことでした。実際に研修を行ってみると期待していた以上に和やかな雰囲気、失敗も多い毎日ながら充実した研修を送っています。あなたにとっての理想を、ぜひ当院の病院見学で見つけていただけたら嬉しく思います。

研修医 1年目

久保田 理可



済生会加須病院は、利根医療圏という医師不足地域に位置している3次救急病院であるため、重症度の異なる幅広い疾患を数多く経験でき、熱心な上級医の指導の下、多くの手技を主体的に実践できることが大変魅力的です。またスタッフ同士の仲がよく院内の雰囲気が暖かいことや、総合医局であるため診療科間、先輩後輩間での意見交換の機会が多く風通しがよいことも大きな魅力の1つです。興味がある方はぜひ一度病院見学へお越しください、研修医一同お待ちしております。